

国際シンポジウム シュルレアリスムの文学と芸術

日時:2026年1月10日(土)10時30分～16時40分

会場:山梨県立文学館研修室 甲府市貢川1-5-35

*できるだけ公共交通機関のご利用をお願いいたします。

発表言語:日本語・英語 入場無料・予約不要

シュルレアリスム

1. 大村 梓(山梨県立大学) 10時30分～11時10分
「瀧口修造におけるシュルレアリスム理論の受容:詩・絵画・翻訳の観点から」
2. アンドルー・ハウエン(東京女子大学) 11時10分～11時50分
‘Surréalisme/Chōgenjitsushugi: A Comparison of Pre-War French and Japanese Conceptions of Surrealism’

昼休み 11時50分～13時00分

3. 進藤 久乃(國學院大学) 13時00分～13時40分
「クリスチャン・ドートルモンの詩学と同時代の絵画:ロゴグラムを中心に」
4. 伊藤 佳之(福沢一郎記念館) 13時40分～14時20分
「前衛画家と文学者の交差点 1930-40年代、福沢一郎の場合」

休憩 14時20分～14時30分

シュルレアリスム

5. エレナ・ストイコビッチ(Oxford Brookes University) 14時30分～15時10分
‘The Matter of Print: Surrealist Books in Japan’
6. 森川 もなみ(山梨県立美術館) 15時10分～15時50分
「米倉壽仁のシュルレアリスムー絵画と詩の交差」

休憩 15時50分～16時00分

7. 全体討論 16時00分～16時40分

Surréalisme